

入野小学校 校長室だより

2015. 12. 3(木) No. 28 文責：芝

暖かな日に、マラソン大会

12月に入りました。毎年、この時期に思うのは「時が過ぎていく速度」、子どもの頃とは1年間が過ぎる速さが本当に違います。早くも年末です。

師走に入ってすぐの1日(火)、校内マラソン大会を行いました。今年も保育所の子どもたちが応援に来てくれましたし、保護者・地域の皆さんにも多くのご声援をいただきました。子どもたちの作文の中にも思った以上の人が応援に来てくれて驚いたことが書かれていました。たくさんの応援の中で、みんな一段と走りに力が入ったことと思います。

本当にありがとうございました。



校内マラソン大会に関する話題を幾つかご紹介します。

《校内マラソン大会まで①》

子どもたちは年間を通して朝マラソンに取り組んでいますので、日々校内マラソン大会に向けての準備をしていると言えます。ですが、各学年とも大会前には何度か本番のコースを使って練習を行いました。普段の体育の授業の中でコース練習をするのは、なかなか大変です。学校からコースまで約1km、移動距離が長い時間がかかります。途中で国道を横断しなくてはなりません。そのため、

コース練習をする場合は職員もチームプレイで対応。複数の学年で行うことを基本に、担任外の職員の応援も加わったりしました。

《校内マラソン大会まで②》

マラソン大会は海岸沿いのサイクリングロードで行います。自動車が通らないので安全と言えますが、自動車が通らないので、落ち葉などが道に溜まりやすいという面もあります。ですから、大会前には職員が数回「落ち葉掃き」に出かけました。マラソンコースは最長の高学年で3km。子どもたちは折り返し点から戻ってきますからコース自体は1.5kmになるのですが、掃除をするとなると、これが長い長い…。一度には出来なかったため、コースで練習した時は、低学年は「まずまずの条件」、中学年では「ちょっと自然が混じる条件」、高学年では「折り返し前後が全く自然」だったと思います。

《校内マラソン大会から》

子どもたちは「昨日までの自分の記録を破る」ことを目標に力走しました。子どもたちが一生懸命に頑張っている姿を見ると、本当に感動します。走っている姿も感動的ですが、一生懸命に応援している子どもたちの姿も、また素晴らしいものです。それぞれの場所で、それぞれに応援していました。下の写真は、ゴールの直前で応援していた3年生。全身で大声を出しているという感じが伝わってくる写真です。

全力を出していても、更にそこからもう1段アップした力を引き出すのが応援の魅力。改めてそんなことも感じた1日でした。

